

## 飯豊連峰縦走（えぶり差岳1636m～飯豊山2105m）

2015年9月19(土)～21(月)

メンバー：ふじ(リーダー)、磯部N(記)、手塚、非会員1名

---

9/19(土) 雨

浜松を出発したのは18日の20時30分、山形の胎内ヒュッテには19日の午前4時着。既に新潟に入る辺りで雨が降り出し、仮眠用のテントも張れず、車中でうとうと。6時10分、胎内ヒュッテ発のバスに乗らないと林道を1時間近く歩くことになるのでゆっくり出来ず。週末運行のマイクロバスで登山口へ入る。一人¥500。

登山口から数分ほどでなだらかな道は終わり、至る所木の根が張りだした急登が始まった。痩せ尾根で、濡れて滑りやすいこともあって二箇所ほどの岩場では気を使った。晴れていれば、滝も見えるコースだが、ほとんどガスに覆われて展望無く、黙々と歩く。



平になったので休憩・笑顔の仲間



色づいたナナカマドの実・ガスの中で鮮やか



サンゴのような赤いミズキの枝

標高が上がるにつれて、風も強くなってきた。大石山に荷をデポして、えぶり差岳へ向かう。  
1時間半ほどでたどり着くが、まったく展望無し。



ガスの中の日本200名山・えぶり差山頂（1638m）

分岐に戻り、リーダーは車回送の為、ピストンで単独下山。残るメンバー3人は主脈縦走路を頼母木（たもぎ）小屋まで進む。風で体が振られる。

たどりついたテン場は水たまり状態。小屋の2階にスペースが有るので小屋泊まりに変更。一人  
¥1500

一晩中、強風と雨が続いた。

<タイム> 胎内ヒュッテ(6:10)-登山口(6:23)-大石山(11:23)-えぶり差岳(12:52)-大石山  
(14:00)-頼母木小屋(15:00)

9月20日：雨のち曇り、のち晴れ

2日目、期待は裏切られ、朝から雨、ガスも相変わらず濃い。気が滅入る出発だ。  
ただ風は収まり昨日より歩きやすい。



ガスの中の頼母木小屋

いくつかのピークを越えて進むが、足下しか見えず、どこも同じ。  
花で有名な飯豊連峰だが、既に夏の花は大半が終わっていた。



タネツムシウの残り花

AM10時近くなって、ようやく雨も止んで時折がすが切れるようになった。前方の登山道や雪渓、地塘が見えるようになると、気持ちも軽くなった。  
シャッターチャンスも多くなって、やっと飯豊の良さが実感できた。



ゆったりとなだらかな縦走路

12時頃から、小屋泊まりは断られるほどにこの日の飯豊連峰は満員御礼状態。テント持参で良かったー！

14：00御西小屋に着く。



御西小屋とテント場

テント設営の後、大日岳を往復する。コースタイムは往復2時間半。  
天気も良くなって、疲れていたが紅葉を楽しみながら、うきうきで歩く。



テン場から大日岳への縦走路を望む

大日岳（2128m）が飯豊の最高峰なので、どうしても登りたかった。念願叶って良かった！！最後の急登にはへばりそうだったけど。頂上からは今日越えてきたいくつものピークがめっちゃきれいに見えていた。

17:00にテン場に戻った。

すでにテン場は禁止区域にまでテントがあふれていた。ツェルトの人もいた。夜中に起きたら、地面にシュラフのまま寝ている人がいて驚いた。そういえば、10時近くまで「さむいよーさむいよー、ねられないよー」と叫んでいる人がいた。あの人のその後は、はたして・・・。

<タイム> 頼母木小屋(5:54)-北俣岳(9:27)-梅花皮（かいらぎ）小屋（10:00）-御西小屋（14:00-30）-大日岳(16:05-10)-御西小屋(17:00)

9月21日：晴れ

朝、三日目にして初めて朝焼けを見る。今日の行程も長いけど、下山日なので気分は軽い。歩き出しは空気もひんやりして気持ちいい。草紅葉の中、抜群のロケーションだ。



草紅葉の向こうにどっしりと大日岳



朝日を浴びながら登山者が行き交う

7:30頃、飯豊山についた。展望を楽しむ人でいっぱい。リーダーとも予定通り再会。



飯豊山で記念撮影

メンバーが全員揃って、昨日の山中の情報交換などをして下山開始。  
クロマメやコケモモをつまんだりして、秋の味覚も味わいつつ、色づきはじめた木々の間を気持ち良く歩く。



中央にあるのが御秘所というクサリ付の岩場



三国小屋手前のすばらしい紅葉

下山口・弥平四郎手前の350mのぐちゅぐちゅの急下りに疲れた足で踏ん張りきかず、何度か転びながらようやく駐車場に下りた。

前半天気に恵まれなかったが、後半はすばらしい紅葉を堪能し、念願の大日岳にも登頂できて満足感いっぱいの山行になった。

仲間の好意で車も回送してもらい、15年前、飯豊本山のピストン山行以来、夢見ていた飯豊連峰主脈縦走がやっと、実現できた。

<タイム> 御西小屋 (5:30) - 飯豊本山 (7:25-40) - 切合小屋 (9:55-10:05) - 三国小屋 (11:50) - 上の越 (14:20) - 弥平四郎 (15:44) - 駐車地 (16:00) - 新津道の駅(泊まり)

写真：手塚・磯部

以上